スーツ：就活とか言うクソゲーシリーズ（面接編）

面接で大事な印象、その印象を良い物にするためには外見を洗練させるのが一つの手段と言う事で、今回は服装、スーツについてお話しをしたいと思います。

男女問わず、スーツの色はネイビーブルー一択。色彩心理学において、誠実さから信頼性など様々な好印象を与えると同時に、和を尊重する集団主義国家であるジャパンにおいて大事な「チームプレイヤー」であると言う印象付けをする事が出来ます。

ネクタイもスーツの色と同じ理由でネイビーブルー一択。素材はシルク一択。高級感を出す事は目的ではありませんが、シルクでは無い素材だと安っぽく見えてしまうので、シルクが良いです。ネクタイの柄は特にこれと言った調査結果は無かったのですが取り敢えず、ストライプ柄だと力と教養、柄無しだと現代っぽさとスタイリッシュな印象を与えるそうで、これを見る限りだとストライプの方が良いかと思います。

靴は黒でベルトの色も黒。

話しは戻って、スーツで大事なのは、値段よりもフィット感。デカいとおやじのおさがりのようにだらしなく見えますので、体に合ったスーツ、予算に余裕があればオーダーメイド、イージーオーダーで体型に合ったスーツを新調するのが良いでしょう。

他にも細かくスーツの種類とか靴の種類とかがあると思いますが、お店の人に「就活用で」と言えば十分です。時間を掛けるべき事は就活の準備であって、服装の細かい所を調べている時間は無駄で、この動画の情報だけで十分です。

体型に合ったスマートなネイビーブルースーツ＆ネクタイ。そして、高貴な漆黒のシューズ＆ベルトで「就活生、葬式にでも行くんか？」「その服装はどうなの？」「ゆとり世代だから」「今時の若者は本当に困ったな」とほざくゴミ共を黙らせましょう。